

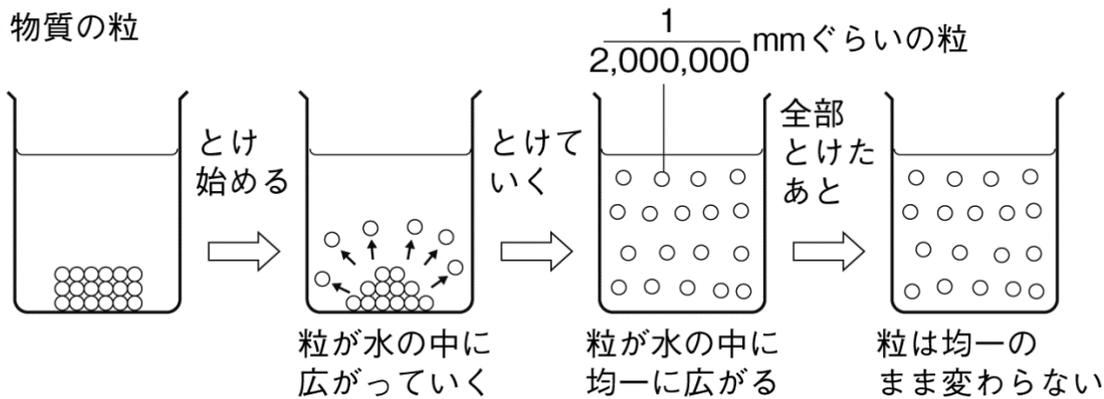
1 水溶液

物が溶けると液が (①) になる

水に物が溶けている液体を (②) という

溶けてしまった粒は (③) に広がる

○ 物質の粒



2 物の溶け方

物がとける限度の量は (①) と (②) で変わる

溶ける限界まで溶かした水溶液を (③) という

《水の量と溶ける物の限度の量の関係 ~水の温度は同じ~》

水の量が多いほど溶ける量は (④) なる

水の量が2倍, 3倍...になると, 溶ける限量も (⑤) となる

《水の温度と溶ける物の限度の量の関係 ~水の量は同じ~》

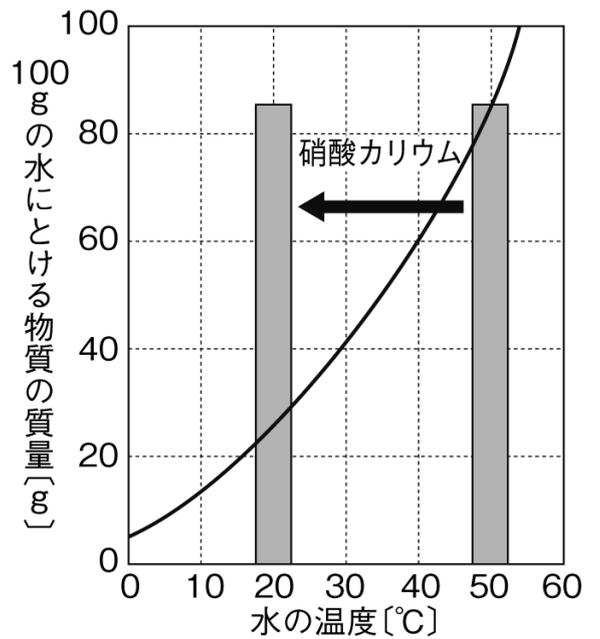
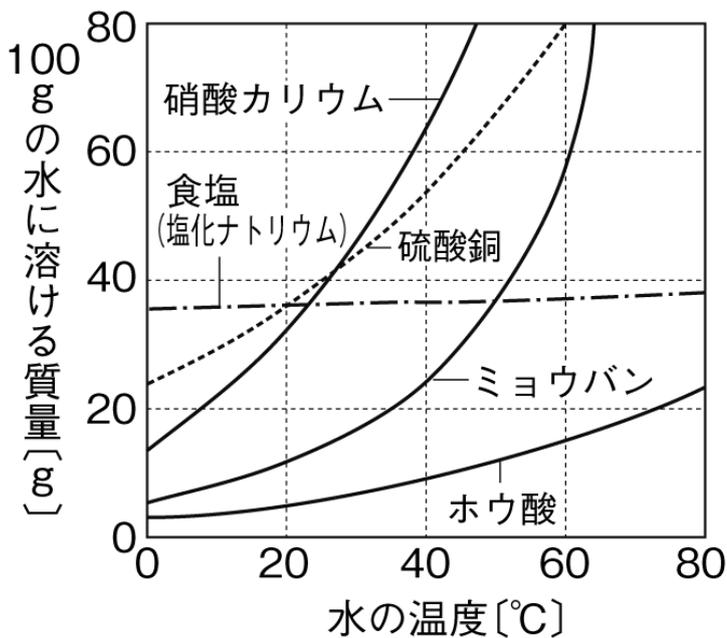
一般的には水の温度が上がると溶ける量は (⑥) なるが, 物質によって異なる

物質の例

温度が上がると溶ける量が増える物質… (⑦) (⑧)

温度が上がってもあまり溶ける量に変化がない物質… (⑨)

温度が上がると溶ける量が減る物質… (⑩)



《溶けた物質をとり出す》

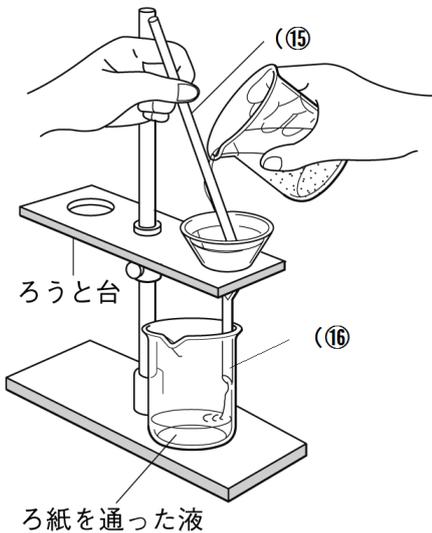
水の温度を高くしてたくさん溶かして、温度を (⑪)) と、溶けた粒が出る

出てきた物は (⑫)) で取り出す

水溶液を加熱して水を (⑬)) させると溶けた物を取り出すことができる

→ (⑭)) のように温度変化で溶ける量があまり変わらないものを取り出すのに使う

ろ過のやり方



3 水溶液の濃さ

水溶液の濃さ

$$\text{水溶液の濃さ (\%)} = \frac{\text{(1)}}{\text{(2)} + \text{(3)}} \times 100$$

4 水溶液の性質

《液性でわかる》

物質の例

酸性 … (①) (②) (③)
中性 … (④)
アルカリ性… (⑤) (⑥)
(⑦)

～⑧酸性・中性・アルカリ性表～

	酸性	中性	アルカリ性
リトマス紙		変化なし	
B T B液			
むらさきキャベツ液	⇔		⇔

むらさきキャベツ液語呂合わせ：赤ピーマンにむらがるミッキー

《溶けている物の状態で分ける》

(⑨) が溶けている溶液は蒸発させると物質が残る

物質の例

気体が溶けている… (①) (②) (③)
固体が溶けている… (④) (⑤)
(⑥) (⑦)

《においのある・なしで分ける》

においのある液体… (⑧) (⑨) (⑩)

《水溶液を分けるために利用する変化》

炭酸水と (⑪) をまぜると白くにごる

塩酸に (⑫) や (⑬) を入れると気体(水素)が発生する